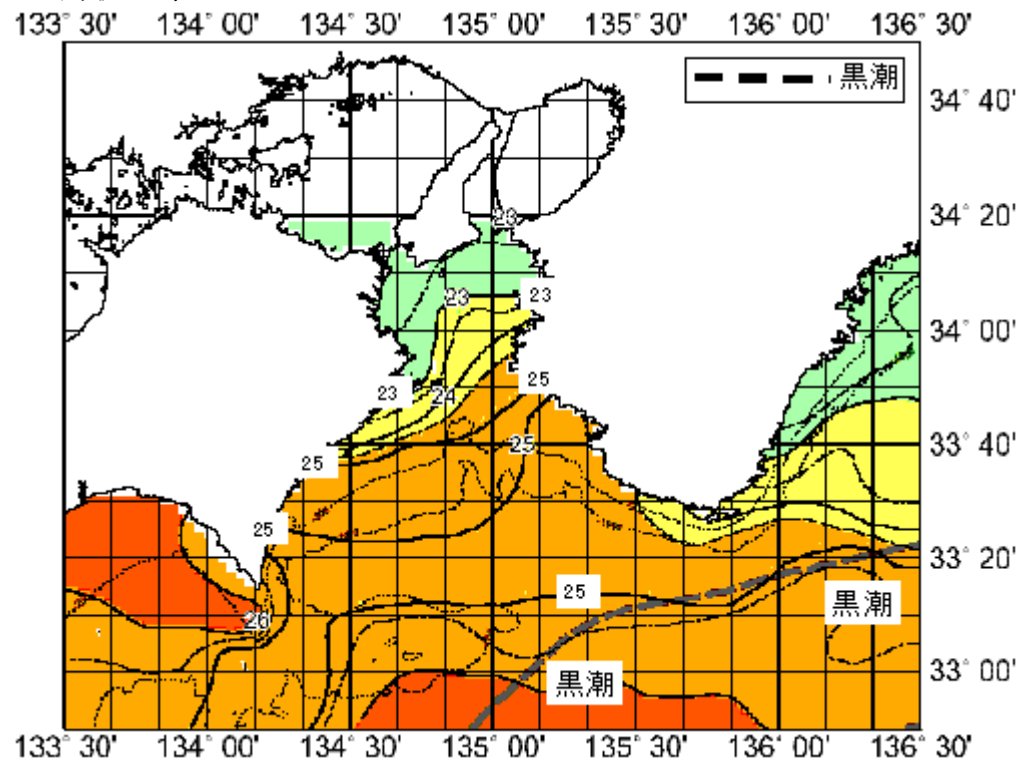


## 1. 海況の経過



### 海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.06.30)を示した。

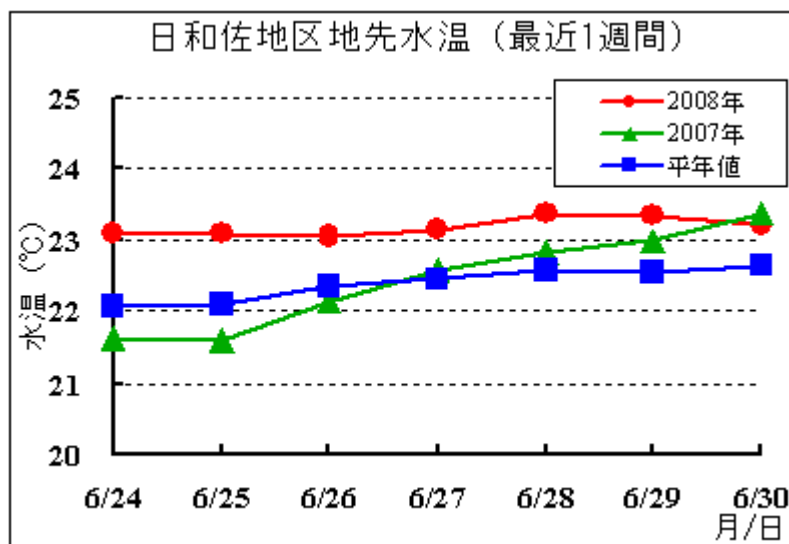
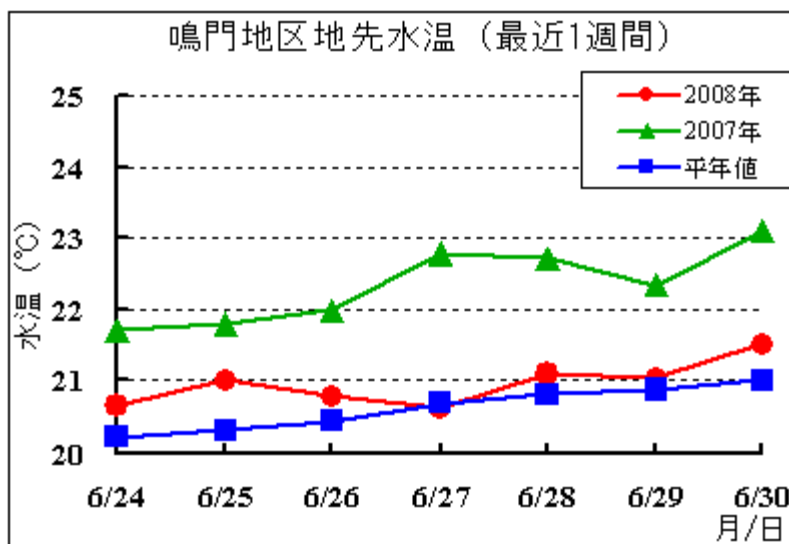
黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は25～26℃台である。

表面水温は播磨灘が22℃台、紀伊水道内部が22～24℃台、外域が23～25℃台である。

播磨灘においては、気温の上昇に伴い、海水温が上昇している。紀伊水道外域においては、潮岬沖で接岸している黒潮の波及を受け、25℃台の暖水帯がある。

### 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の20.6～21.5℃、日和佐地区は「やや高め」の23.0～23.4℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の23.8～24.5℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

小型定置網では、3月以降、マメ主体にマアジの入網が継続している。パッチ網は、都合により漁獲情報を収集できなかった。

**延縄:**海部沿岸で、大主体にイトヨリが0.3トン(1日1隻当たり3kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、ウルメイワシが0.2トン(同27kg)、キビナゴが0.3トン(同25kg)、トビウオ類が0.2kg(同20kg)、小・マメ主体にマアジが1.3トン(同63kg)、マイワシが13.8トン(同329kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、大主体にイサキが0.7トン(同69kg)、大・小主体にシイラが0.4トン(同53kg)、小主体にトビウオ類が0.3トン(同25kg)、大主体にヨコワが0.9トン(同299kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大主体にイサキが0.3トン(同10kg)、特大・大主体にカツオが2.1トン(同194kg)、大・中主体にキハダが1.7トン(同157kg)、大主体にシイラが1.1トン(同102kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.5トン(同10kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 06月23日～06月29日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	イトヨリ	105	323	3	大主体
小型定置網		ウルメイワシ	9	240	27	
		キビナゴ	10	252	25	
		トビウオ類	12	245	20	
		マアジ	21	1,327	63	小・マメ主体
		マイワシ	42	13,837	329	
		イサキ	10	693	69	大主体
大型定置網		シイラ	8	427	53	大・小主体
		トビウオ類	12	303	25	小主体
		ヨコワ	3	897	299	大主体
釣り		イサキ	29	301	10	大主体
		カツオ	11	2,134	194	特大・大主体
		キハダ	11	1,728	157	大・中主体
		シイラ	11	1,120	102	大主体
		紀伊水道	タチウオ	50	522	10

特異事項:

本県沿岸域において、アカクラゲ・ミズクラゲが多い。海部沿岸上灘の小型定置網では、特にミズクラゲが大量入網している。

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸からかなり離岸、潮岬で接岸からやや離岸で推移する見込み。  
地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の21～22℃台、日和佐地先で「やや高め」の23℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、キハダが0.4トン(1日1隻あたり3kg)、定置網で、マアジが2.2トン(同0.1トン)、釣りでスルメが4.8トン(同26kg)、タチウオが1.3トン(同7kg)、イサキが3.2トン(同17kg)、パッチ網でシラスが8.3トン(同0.1トン)水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上